

報道関係者各位 プレスリリース

2018年10月25日株式会社ビービット

ユーザグラムにディスカッション機能を追加

チーム内で気づきや知見の共有を促進し、UX グロースハックを当たり前の文化に

株式会社ビービット(本社:東京都千代田区、代表取締役:遠藤 直紀)は、2017 年 4 月より提供しているサービス「ユーザグラム(Usergram)」について、企業アカウント内でユーザに対するコメントを共有できるディスカッション機能をリリースしました。



■ディスカッション機能の概要

これまでユーザグラムでは、観察したユーザに関するメモを残せる機能を提供していました。しかしこれは、異なるログイン ID の利用者には内容を共有できないという制約がありました。

今回リリースした新機能では、同じ企業のアカウントに属するログイン ID 間で、ユーザに対するコメントを共有すること

beBit

ができるようになりました。特定の利用者にメンションをつけてコメントをする、他の利用者からのコメントに対して返信やリアクション(「いいね」をつけるなど)をするといったことも可能です。

■ディスカッション機能リリースの狙い

2018 年 10 月 10 日より、ユーザグラムは「モーメント分析クラウド」としてリブランディングしております。行動データを使ってマーケティング・UX(顧客体験)改善企画を行うにあたり、「モーメント(ある状況において生じる行動)」を分析し、顧客の行動パターンや問題点を把握することが最も重要であり、ユーザグラムでは、モーメント分析によって UX の高速改善=UX グロースハックを実現することを目指しております。

今回リリースしたディスカッション機能は、チームで課題意識を共有して目線をそろえたり、UX 改善能力をチーム内で加速度的に鍛えたりすることを目的に生まれた、UX グロースハックチームのためのコミュニケーション機能です。

■想定される利用シーン

- ユーザグラムをベースに、ユーザについてオンライン上で議論する。
- 経験の浅いメンバーがユーザ観察中に疑問に思ったことをコメントとして残し、先輩がそれに対する解釈の方向 を返信で示す。
- ユーザ行動の中で、特定の施策の効果が出ている様子をピックアップしチーム内で共有しあう。

以上

■ユーザグラム(Usergram)について http://www.bebit.co.jp/usergram/

「モーメント分析クラウド ユーザグラム」は、モーメント(ある状況下で発生する顧客の行動)分析から状況を把握し、顧客体験(UX)の高速改善=UX グロースハックを実現するクラウドサービスです。従来高度なデータ解析技術が必要であったモーメントの把握・分析を、専門外のスタッフでも簡単に行うことができます。ユーザグラムは、真の意味でユーザ中心のデータドリブン・マーケティングを実現します。

■株式会社ビービット https://www.bebit.co.jp/

設立 : 2000 年 3 月

代表者 : 代表取締役 遠藤直紀

事業内容 : ビービットは、「エクスペリエンスデザインを実践できる組織への変革」を支援する企業です。2000年の創業以来、開発を

続けてきた「ユーザ中心の方法論」に基づき、企業のエクスペリエンス運用業務を支援する「エクスペリエンス設計支援コンサルティング」およびクラウドサービス「モーメント分析クラウド ユーザグラム」を提供しています。2012年に台北、2013年に上海

にて海外現地法人を設立。